



凡例

浸水深 (m)	色
: 0.3m未満	黄
: 0.3m以上 0.5m未満	黄緑
: 0.5m以上 1.0m未満	緑
: 1.0m以上 3.0m未満	緑紫
: 3.0m以上 5.0m未満	赤
: 5.0m以上 10.0m未満	赤紫
: 10.0m以上 20.0m未満	紫
: 20.0m以上	黒

1:25,000

【留意事項】

- 〇高潮浸水想定区域図は、水防法に基づき、都市計画に基づき、高潮による浸水が想定される範囲、浸水した場合に想定される水深等を明示した図面です。
- 〇高潮浸水想定区域図の作成にあたっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風を基本とし、各海岸で潮位幅差（潮位と天文潮の差）が最大となるような複数の経路を想定して高潮浸水シミュレーションを実施し、その結果を重畳合わせ、最悪の浸水深が示されるようにしております。
- 〇国土庁の調査結果は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に台風や高潮から想定したものであり、これよりさらに大きな浸水が想定されるというものはありません。
- 〇最大クラスの高潮を引き起こす台風を中心気圧としては、我が国で既往最大規模の聖ปี台風（昭和9年）を想定しております。なお、この規模の中心気圧を持つ台風が来襲する確率は、三木地区（東京湾、大井湾、伊豆湾）で最も500年から数十年に一度と想定されております。
- 〇浸水域や浸水率は、島の地形の凹凸や建築物の形状、前後とした各種条件を考慮した上で、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなつたりする場合があります。現在の地形と異なる場合も、現在の地形と異なる場合、地下空間が浸水する恐れがあります。
- 〇地下につなぐとなっている崖、土留、擁壁、開口部が、浸水区域に存在する場合、高潮が到達した後も、日々の降雨による、浸水が発生する可能性があります。
- 〇地盤高が想定高潮水位より低い地域については、堤防が浸水を受け、高潮が到達した後も、日々の降雨による、浸水が発生する可能性があります。
- 〇様々な避難のためには、気象庁が事前に発表する台風情報（気象庁は日本列島に大きな影響を及ぼす台風が接近している時には、24時間以内で3時間刻みの予報等を発表しております。）や、市町村で今後作成されるハザードマップ等を活用してください。
- 〇台風が来襲する前に避難を完了し、高潮警報や避難勧告が解除されるまでは、避難を継続する必要があります。
- 〇今後、数値の精度や表記の変更等により、修正の可能性が異なります。

【用語の解説】（図一参照）

- ①高潮：台風等の気象により発生する潮位の上昇現象。台風や発達した低気圧が通過するとき、潮位が穴大きく上昇することがあり、これを「高潮」といいます。
- ②浸水域：高潮や潮流に伴う浸水が想定される範囲です。
- ③浸水深：地上の各地点で水面が最も高い位置にきたときの地盤面から水面までの高さです。
- ④潮位幅差：気象庁が算出した天文潮（推定潮位）と、気象庁の発表を受けた実際の潮位との差（ずれ）を潮位幅差といい、その差が最大となるうち、台風等の気象により最も危険であるものを「高潮」といいます。
- ⑤高潮水位：高潮警報時に想定される水面の高さを「T.P.基準」で示したものを指します。